

蚊媒介感染症にご注意ください

秋になりましたが、地球温暖化の影響で気温が下がらず、蚊の発生が続いています。

蚊媒介感染症とは病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。

主な蚊媒介感染症にはウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱などがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。日本においては日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症としてみられていますが、デング熱に関しては2019年9月に国内感染例が報告されました。

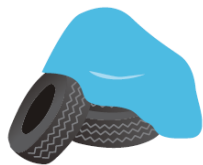
蚊の発生を減らすために

- 定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう

水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル



詰まった排水溝

- 下草を刈るなど成虫が潜む場所をなくしましょう

下草刈り



風通しの悪いやぶ・草むら

蚊に刺されないポイント

- やぶなどの蚊がいそうな場所にいくときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど蚊にさされないように注意しましょう
 - 蚊媒介感染症の流行地に渡航する場合は現地で蚊に刺されないように注意しましょう
- ※蚊媒介感染症の流行地など詳しい情報は厚生労働省の「蚊媒介感染症」のホームページでご確認ください。



<問い合わせ先>

近江八幡市子ども健康部健康推進課 電話0748-33-4252